

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小(廃止)	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))	
1	岐阜県総合医療センター	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> ・肺・呼吸器、乳腺、消化器、泌尿器／生殖器等のがんについて診療実績あり ・ステージに応じて、外科的切除や内科的治療(化学療法、放射線治療等)の適切な治療が選択できる体制を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現状の医療を継続 ・がんゲノム医療に対してハード・ソフト両面で整備を実施 ・放射線治療を実施する施設、設備の投資を実施 	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> ・冠動脈バイパス術や弁置換術等、外科的治療の診療実績あり ・ステント・グラフト挿入術や大動脈弁置換術、僧帽弁クリップ等の最新のカテーテル治療も数多く実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現状の医療を継続 	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管障害の救急症例には、24時間対応可能な体制をとっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現状の医療を継続 	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・三次救急医療機関として精神疾患を除く全ての救急疾患を対象に24時間体制で安心して受診できる体制を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現状の医療を継続 	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急医療拠点病院として、小児集中医療室、重症心身障がい児施設を有し、あらゆる小児の疾患に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現状の医療を継続 ・小児救命救急センターとして必要な整備基準を満たすよう体制づくりに努める 	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・総合周産期母子医療センターとして、産婦人科、胎児診療科、新生児内科が連携をとりながらチーム医療を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現状の医療を継続 	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性					当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	現状 (病院回答から転記(抜粋))		
								今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))		
2	岐阜市民病院	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> ・診療実績あり ・手術療法、化学療法、放射線療法のいずれも実施 ・がん治療認定医、がん薬物療法専門医が複数名在籍 ・連携バス等で他院との連携あり ・放射線治療装置2台を整備 ・無菌室を備え、悪性リンパ腫、白血病等の血液がんの治療に対応 ・地域がん診療連携拠点病院の指定 	・今後も実施	
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> ・診療実績あり ・心臓カテーテル手術実施 ・外科手術が必要な心疾患に対応 	・今後も実施	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> ・診療実績あり ・t-PAによる血栓溶解療法の実施 ・脳血管内手術、開頭血腫除去術等の手術実施 ・連携バス等で他院との連携あり 	・今後も実施	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療機関として救急搬送患者等の受け入れを行っている ・軽症から重症まで幅広い疾患を受け入れている ・身体合併症を持った精神疾患患者も多く受け入れている ・重症外傷等は岐阜大学医学部附属病院と相談して対応 ・医師会及び歯科医師会、薬剤師会の協力のもと「岐阜市休日急病センター」「岐阜市休日急病歯科センター」による診療を岐阜市から受託して当院内で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も実施 ・救急専門医の育成等により体制の充実を図る 	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・小児専用病棟である ・陽圧病棟を備え白血病等の小児がんの治療に対応 ・365日24時間体制で小児科医が勤務 ・岐阜市及び周辺医師会の協力のもと「小児夜間急病センター」による診療を岐阜市から受託して当院内で実施 	・今後も実施	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・年間200件程度の分娩実績あり ・三次周産期医療機関(周産期医療支援病院)として心疾患、糖尿病、精神疾患の合併症を持った患者など、ハイリスクな分娩を受け入れている ・超未熟児は県総合医療センターと連携して対応 	・今後も実施	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 （病院回答から転記（抜粋））	今後の見込み、予定 （病院回答から転記（抜粋））	
3	羽島市民病院	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 手術、化学療法を実施 症例等により岐阜大学病院等と連携により対応 放射線治療適応症例の場合は、岐阜大学病院又は岐阜市民病院等に紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 継続対応 外来化学療法の需要拡大へ対応 	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 24時間体制で診療、緊急カテーテル検査、治療を実施 外科的手術については、岐阜大学病院等と連携により対応 	継続対応	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 救急を要する疾患に対しては24時間専門医が対応 開頭血腫除去術等は自院で実施、カテーテルによる血管内治療は、連携病院の協力のもと医師派遣を受け実施 外科手術適用は、岐阜大学病院、松波総合病院、朝日大学病院等と連携により対応 	継続対応	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 救急医療センターを設け24時間受け入れ態勢を確保し、羽島市を中心に、岐阜市、海津市、大垣消防、羽島広域連合消防等近隣の救急車搬送患者を受け入れ 大腿骨骨折については必要に応じ松波総合病院と連携により対応 	継続対応	
			小児医療	○				救急搬送患者の受け入れ及び必要に応じた専門医療機関と連携により対応	継続対応	
			周産期医療					受け入れを実施していない	—	
4	岐阜大学医学部附属病院	公的	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 都道府県がん診療連携拠点病院として対応 県内各病院からの紹介等に対応 	今後も同様の対応を予定	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 緊急対応も含めて手術等に対応 県内各病院からの紹介等に対応 	今後も同様の対応を予定	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 緊急対応も含めて対応 一次脳卒中センターに指定 県内各病院からの紹介等に対応 	今後も同様の対応を予定	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 高度救命救急センターとして県全体の最重症症例に対応 ドクターヘリ、ドクターカーの運用対応 県内各病院からの要請等に対応 	今後も同様の対応を予定	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 免疫疾患等の難治性疾患に対応 県内各病院からの紹介等に対応 	今後も同様の対応を予定	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 周産期支援病院として、ハイリスク分娩を中心に対応 県内各病院からの紹介に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応を予定 地域周産期母子医療センター指定予定 	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 （病院回答から転記（抜粋））	今後の見込み、予定 （病院回答から転記（抜粋））	
5	松波総合病院	公的	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間600件以上の新規診療実績あり（肺・呼吸器、乳腺、消化器、泌尿器、生殖器、放射線治療、化学療法） 羽島市民病院をはじめとした岐阜県南部の医療機関と連携し、各診療科のがん患者の受け入れを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も当院での治療は地域連携パスを有効活用し連携を推進 さらにがんに特化した専門医を獲得予定 	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間500件以上の新規診療実績あり（心臓カテーテル手術、外科手術） 循環器内科と心臓血管外科（2チーム）で協同して活動 心臓リハビリも積極的に実施 対象医療機関向けホットライン開設による心臓血管外科手術対象患者の受け入れ（365日24時間、病院救急車による出勤、対象患者搬送） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応予定 さらにカテーテル施工可能な循環器内科医の増員予定 	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間260件以上の新規診療実績あり（脳動脈瘤クリッピング術、開頭血腫除去術、血栓除去術等） 緊急手術に対応、早期に院内リハビリチームへ移行 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も当院での治療は地域連携パスを有効活用し連携を推進 さらに脳外科医と脳神経内科医の増員予定 	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間救急車応需数3,800件以上 断らない救急の実践。救急車応需率 99% 大腿骨骨折等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も実施 救急ワークステーションやドクターカーの活用・強化 	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間小児科入院件数500件以上 小児科一般外来に加え、発育外来を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応予定 常勤2名体制から3名体制を予定 	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間300件程度の分娩実績あり 岐阜県妊婦救急搬送システムによるNICU対応患者の搬送 岐阜大学附属病院、岐阜県総合医療センターと連携し、ハイリスク妊婦を診察 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も通常分娩への対応を継続する予定 岐阜大学附属病院、岐阜県総合医療センターと連携の継続 産後検診、産後ケア等を行政と協力し推進 	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))	
6	長良医療センター	公的	がん	○				・開業医と連携し対応	・今後も開業医と連携し対応	
			心筋梗塞等の 心血管疾患					・循環器内科医師が1人のため十分対応出来ない	・今後、医師が確保できた時点で対応	
			脳卒中					・脳神経外科医師が1人のため十分対応出来ない	・今後、医師が確保できた時点で対応	
			救急医療	○				・対応可能な疾患については積極的に受け入れ	・今後も対応可能な疾患については積極的に受け入れ	
			小児医療	○				・NICU6床・GCU6床、計12床で新生児の受け入れており、岐阜県総合医療センターや開業医等と連携し対応 ・小児救急医療の二次救急医療機関として救急患者をはじめ、小児科全般を積極的に受け入れ	・NICUとGCUについては、医師確保の状況や患者数の動向等を踏まえて今後の運用を検討中 ・岐阜県総合医療センターや開業医等と引き続き連携して対応 ・小児救急医療も継続して対応	
			周産期医療	○				・地域周産期母子医療センターに指定されており、分娩を積極的に受け入れているところであるが、産科医師数の減少に伴い、分娩件数が減少し、ハイリスク分娩管理加算も算定不可	・岐阜県総合医療センターとの役割分担を明確にして、引き続き連携してやっていく ・今後、岐阜県、岐阜県総合医療センター、岐阜大学と当院の4者で検討していく予定	
7	東海中央病院	公的	がん	○				・主に消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科で対応。対応が困難な症例については岐阜県総合医療センター、岐阜大学、名古屋大学、がんセンターなどの高次医療機関に紹介	・今後も同様の対応予定	
			心筋梗塞等の 心血管疾患	○				緊急冠動脈造影、経皮的冠動脈インターベンション、末梢血管カテーテル治療、大動脈内バルーンパンピング、経皮的心肺補助、ペースメーカー等が可能。対応が困難な症例については岐阜県総合医療センター、岐阜大学、名古屋大学などに紹介	・今後も同様の対応予定	
			脳卒中	○				血栓溶解療法、脳血管内手術、脳動脈瘤手術、頭蓋外-頭蓋内血管吻合術、頸動脈の血栓内膜剥離術等に対応可能。対応が困難な症例については岐阜県総合医療センター、岐阜大学などの高次医療機関に紹介	・今後も同様の対応予定	
			救急医療	○				・当院は各務原市での二次救急の役割を担い、令和元年度は3,169件を受け入れ ・対応が困難な症例については岐阜県総合医療センター、岐阜大学などの高次医療機関に紹介	・今後も同様の対応予定	
			小児医療	○				・外来診療は対応可能 ・対応が困難な症例については岐阜県総合医療センター、岐阜大学などの高次医療機関に紹介	・今後も同様の対応予定	
			周産期医療	○				・対応不可であるため、岐阜県総合医療センター、岐阜大学等へ紹介	・今後も同様の対応予定	

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 （病院回答から転記（抜粋））	今後の見込み、予定 （病院回答から転記（抜粋））	
8	岐阜北厚生病院	公的	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 各専門医による診療実績あり（呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器） 外科的治療、薬剤治療、放射線治療を実施 乳腺疾患は、県内のみならず県外からの受け入れも積極的に実施 内視鏡健診、乳房健診等を積極的に実施し、がんの早期発見に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の診療体制を維持するとともに、対象患者増加に対応すべく更なる診療体制の充実を図る 岐阜北厚生病院施設整備事業にて内視鏡センター、乳腺センター、化学療法室、手術室等の施設整備を行ったところであり、今後、機器の刷新を図り、多くの疾患に対応できる体制を構築 	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 循環器内科専門医による診療実績あり 心臓カテーテル検査にも対応しているが、診療時間外における緊急心臓カテーテル検査に対応できない場合があり、基幹病院へ迅速に搬送し速やかな治療ができる連携体制を構築 血管外科は標榜しておらず、対象患者は基幹病院へ紹介するなど連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応を維持 	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科は、岐阜大学医学部から非常勤医師の派遣を受け外来診療にあたっている 超急性期の治療を要する場合は基幹病院へ迅速に搬送し速やかな治療ができる連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応を維持 	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 山県市唯一救急告示病院として救急患者の受入要請に積極的に対応 当院で対応困難な疾患や外傷については、基幹病院へ迅速に搬送し速やかな治療ができる連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 新病院増築に伴い救急医療設備、手術室設備等の拡充を行ったことから、今後も圏域の救急医療に迅速に対応 	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 常勤の小児科医師は1名であり、入院対応が困難な状況にあるが、近隣開業医からの紹介も多く外来診療で対応 緊急時は基幹病院へ迅速に搬送し速やかな治療ができる連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応を維持 	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 産婦人科は、岐阜大学医学部から非常勤医師の派遣を受け外来診療にあたっているが、産科（周産期医療）には対応できていない 外来診療において産科受診の必用性が認められれば基幹病院へ迅速に搬送し速やかな治療ができる連携体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様の対応を維持 	
9	岐阜赤十字病院	公的	がん	○				当院にて提供可能な範囲での対応を行い、困難な場合は他医療機関との連携（紹介、転院搬送等）を実施。	現状と変わらず	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				当院にて提供可能な範囲での対応を行い、困難な場合は他医療機関との連携（紹介、転院搬送等）を実施。	現状と変わらず	
			脳卒中					提供なし	現状と変わらず	
			救急医療	○				当院にて提供可能な範囲での対応を行い、困難な場合は他医療機関との連携（紹介、転院搬送等）を実施。	現状と変わらず	
			小児医療					提供なし	現状と変わらず	
			周産期医療					提供なし	現状と変わらず	